

真心教育 誇りある学校を目指して

地域の教育力を活かして

千葉県教育功労者表彰 ありてとらとらとらとら

教育功労者表彰とは、千葉県の教育に寄与したものに贈られる、とても名誉ある賞です。その教育功労者表彰学校教育の部団体部門で、南流山小学校が受賞しました。県内に公立小学校は847校ありますが、その中で今年度選ばれたのは、11校です。このうちの1校に選ばれたのは大変な快挙です。

南流山小学校では、平成11年度から市内でもいち早く、国際理解教育に取り組み始めました。在校生の保護者に外国籍の方がいらしたことから、外国語活動への協力をお願いするとともに、地域に外国語指導のボランティアを募っていきました。国際理解教育の一貫としての外国語活動を12名の方々の教育支援を受け、総合的な学習の時間等で始めました。子どもたちはボランティアの方々とコミュニケーションを取りながら外国の文化に触れたり、簡単な外国語を聞いたり話したりするなど、今の外国語活動の先駆けになる活動を推進してきました。

また、安全教育においては、地域ボランティアによる登下校の安全指導や自転車の安全教育が行われてきました。平成15年度 交通安全子ども自転車大会3位入賞、平成17年度 準優勝、平成21年度5位入賞と毎年流山市の代表校として実績を残してきています。

さらに、平成19年度からは、「地域との連携とふれあい」をテーマに福祉教育に取り組み、あいさつ運動や福祉関係者の方々と連携で手話等の福祉体験活動を実施するなど、地域の教育力を活かした取り組みを継続して実践し、地域に信頼される学校づくりを行っています。



「確かな力」の育成のために

市内小中学校では、過去3年間、全小中学校で実施された「全国学力、学習状況調査」結果を参考に、各校の実態把握に努め、様々な取り組みをしています。朝自習の時間や放課後の時間を使い、音読、漢字練習、計算練習など基礎的基本的な知識技能の定着を図っている学校が多くみられます。加えて放課後の時間を活用して学習教室を実施している学校もあり、大勢のボランティアの方々からの支援が成果に結びついています。また、小・中学校とも、校内研究会を充実させ、教師の指導力の向上や「わかる授業」を目指しています。教材・教員の開発をしたり、考える学習や体験活動を積極的に取り入れ、児童生徒が学びあう場を設定したり、少人数指導やチームティーチングなど学習形態を工夫し、より個に応じたきめ細かな指導の充実を図ったりして、日々の授業の改善を図っています。

また、睡眠、食事、親子の会話などの大切さが言われています。かわかりを大切にしながら家庭学習に取り組むなど、今後も保護者の皆様の理解と協力をお願いします。

チームティーチング



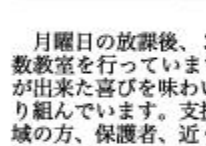
(八木中学校)
複数の教員で指導することで、一人ひとりの生徒に目が行き届き、個に応じたきめ細かな指導ができます。豊かな人間関係づくりプログラム(ピア・サポート)の授業では「物事を丁寧に考え、判断すること」をテーマに各クラス2名の教員で授業をしました。

小中合同研究会



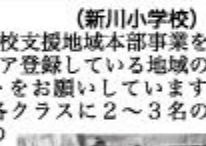
(西初石小学校・西初石中学校)
中学校区の小学校・中学校で互いに教員が、校内研修会の日にあわせて、授業参観を行っています。お互いの学校・児童生徒の情報交換の機会にもなり、義務教育9年間を見通し、計画的に子どもたちに確かな学力の育成を図る手立てとなっていました。これまで取り組んでいた小中連携をより充実させ、小中一貫教育として進めていきます。

放課後に己に己算教



(八木南小学校)
月曜日の放課後、3年生の児童のうち希望児童対象に算数教室を行っています。現在加入率100%です。子ども達が出来た喜びを味わいながら、笑顔でプリントの問題に取り組んでいます。支援者は、ボランティアの方々です。地域の方、保護者、近くの大学からも来ています。「わからないところがわかるようになった。すぐに教えてもらえてうれしい。家でも勉強するようになった。算数が好きになった。」など、意欲の向上がみられます。子どもも支援者も皆「にこにこ」楽しい算数教室です。

朝学習ボランティア



(新川小学校)
朝自習の時間に学校支援地域本部事業を通して、ボランティア登録している地域の方々に学習サポートをお願いしています。週2回、高学年の各クラスに2〜3名の方々が入り、算数の復習を中心に子どもたちの学習を支援してくださっています。多くの目に見守られ、子ども達は集中して学習に臨んでいます。

学校の環境整備が進んでいます

流山市では学校の耐震工事にあわせ、学校のトイレの改修を進めています。より明るく、使い易くなるよう工夫しています。

小学校では、子どもたちが「トイレが明るくなって、入りやすいです。洋式でとても使いやすいです。」「トイレに入ると気分が良くなります。」「自動で水が流れるようになりました。これからもきれいに使います。」等の感想を持ち、ピカピカになって使いやすいようになったトイレに、大満足な様子です。

中学校でも「明るくきれいで、とても使いやすくなった。」「自動で電気がついたり、水が流れてびっくります。」「とてもきれいになったので、一生懸命掃除をして、大切にしていきたい。」との声も聞かれました。また保護者の方々からも、「あまりにもきれいなのでびっくりしました。『中学生はトイレに行きづらくて我慢する。』などと聞きますが、これならそんなことはないと思います。」「今までと全くイメージが変わったので驚きました。私たちの頃と比べると、子どもたちはとても幸せだと思います。」と、一様に驚きや喜びの声が学校に届いています。

～日本一を目指して～ ピカピカトイレは気持ちいいナー

(向小金小学校 女子トイレ)
(鎌ヶ崎小学校 男子トイレ)



東深井中学校 (多目的トイレ)
各階トイレの入り口も入りやすいです

改修工事によって、排泄は「恥ずかしい」「洋式でないからできない」「トイレは汚い・臭い・暗いから行きたくない」というイメージが払拭されてきています。

みんなに読書の楽しさを伝えよう

『子ども司書』に期待!!

流山市では、読書活動を推進する中心となる児童を育成し、校内で読書の楽しさや大切さを広めるために、『子ども司書講座』を市内すべての小学校で実施しています。

この講座では、専門家である市立図書館司書の方から、図書の分類の仕方や展示、整理の仕方を学びます。

11月5日(金)には、流山市北小学校で講座が開かれ、司書の仕事について学習しました。

市内小学校の工夫した展示の仕方について紹介された後、参加した6年の遠藤悠里さんは、「北小も工夫して、みんなにわかりやすい図書室を目指したい」と意欲を見せていました。

『子ども司書』の活動で、流山の各小学校で読書好きな子どもが増えることが期待されています。



育っています 科学の目

千葉県児童生徒科学作品展 東深井小2年連続「学校賞」

当日は10月23、24日の「東葛飾教育展」で選ばれた市内小中学生の力作が会場に勢揃い。

県下の各地から集まった作品の中から、論文の部では「千葉市教育長賞」を生駒ゆりさん(東深井小6年)が、科学工夫作品の部では「千葉県総合教育センター所長賞」を長内智哉さん(長崎小1年)がそれぞれ受賞しました。

千葉県では個人賞の他、科学作品展の取り組みで成果をあげた学校に「学校賞」が贈られています。今年度の小学校科学論文部門の学校賞は県内で1校のみで、東深井小学校が受賞しました。

2年連続の学校賞受賞は快挙です。11月12日、県総合教育センターで表彰式がありました。



ナメクジ大研究3(東深井小)



ガオガオライオン(長崎小)

5年間の継続研究で最優秀賞! 『アメリカザリガニ』の研究

第10回ジャパン バードフェスティバル環境学会が、11月7日(日)に我孫子市文化会館アビスタで開催されました。(財)山階鳥類研究所等の研究機関や行政、NPOが実行委員会を組織し運営されているものです。県内だけでなく東京都内や神奈川県からも生物・環境研究の発表のために小・中・高校生が参加しました。今年度は南部中学校2年生の石井稜悟さんが「アメリカザリガニの研究」を発表しました。石井さんは小学校4年生から5年間『ザリガニの体色』について研究を継続し、その成果が実に最優秀賞を受賞しました。

